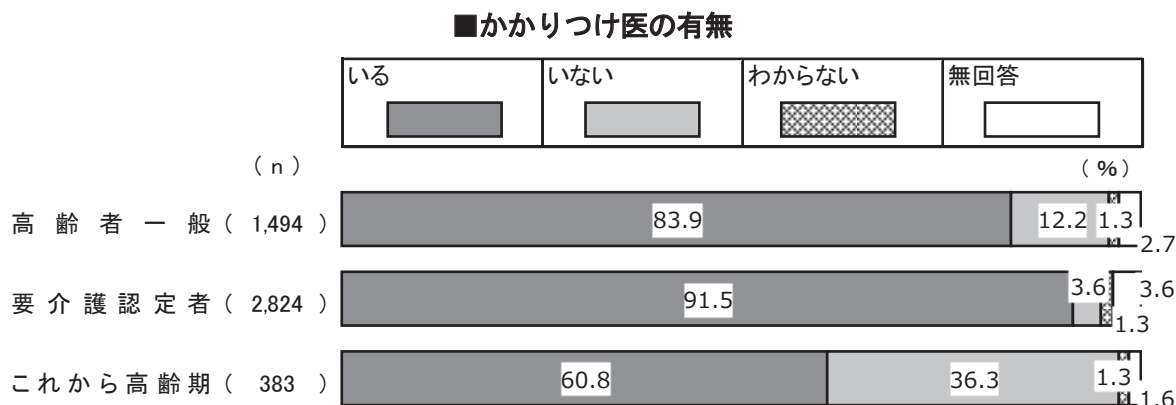


4 医療・健康

(1) かかりつけ医等の状況

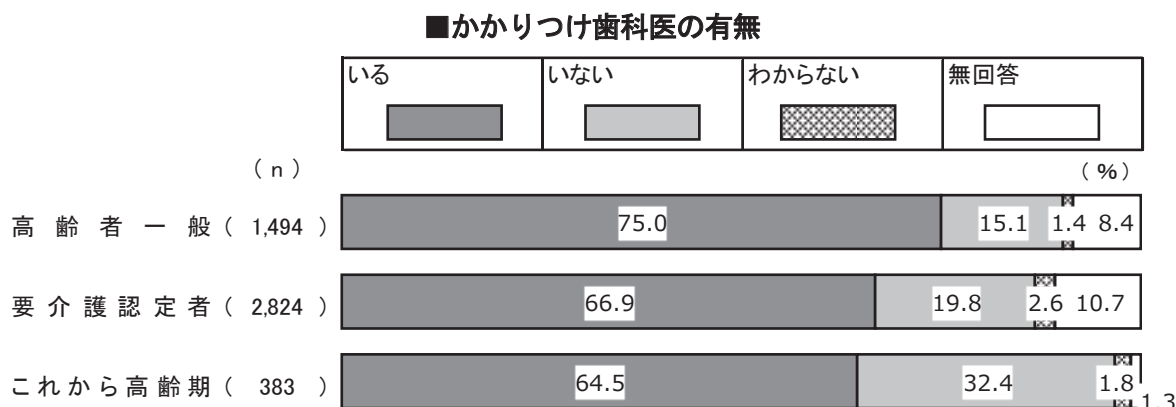
① かかりつけ医の有無

○ 「いる」は、高齢者一般で83.9%、要介護認定者で91.5%、これから高齢期で60.8%であった。



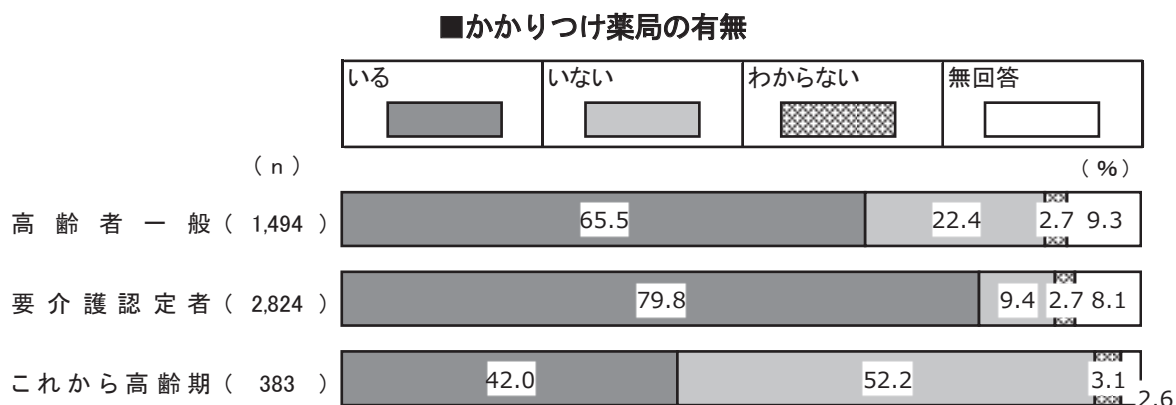
② かかりつけ歯科医の有無

○ 「いる」は、高齢者一般で75.0%、要介護認定者で66.9%、これから高齢期で64.5%であった。



③ かかりつけ薬局の有無

○ 「いる」は、高齢者一般で65.5%、要介護認定者で79.8%、これから高齢期で42.0%であった。

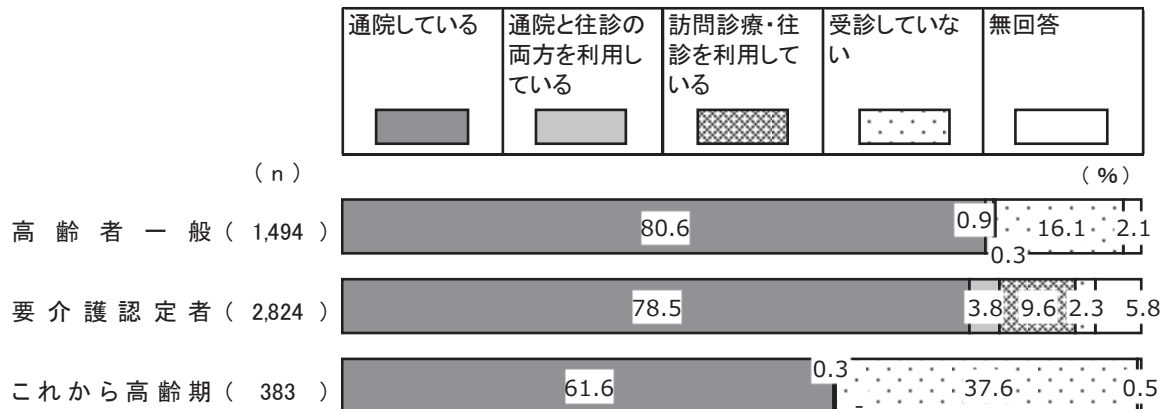


(2) 医療の受診状況

① 医療の受診形態

- 「通院している」「通院と往診の両方を利用している」「訪問診療・往診を利用している」と回答した“何らかの方法で医療を受診している”人は、高齢者一般で8割超、要介護認定者で9割超、これから高齢期で6割超であった。
- 「受診していない」は、高齢者一般で1割半ば、これから高齢期で4割近くであった。

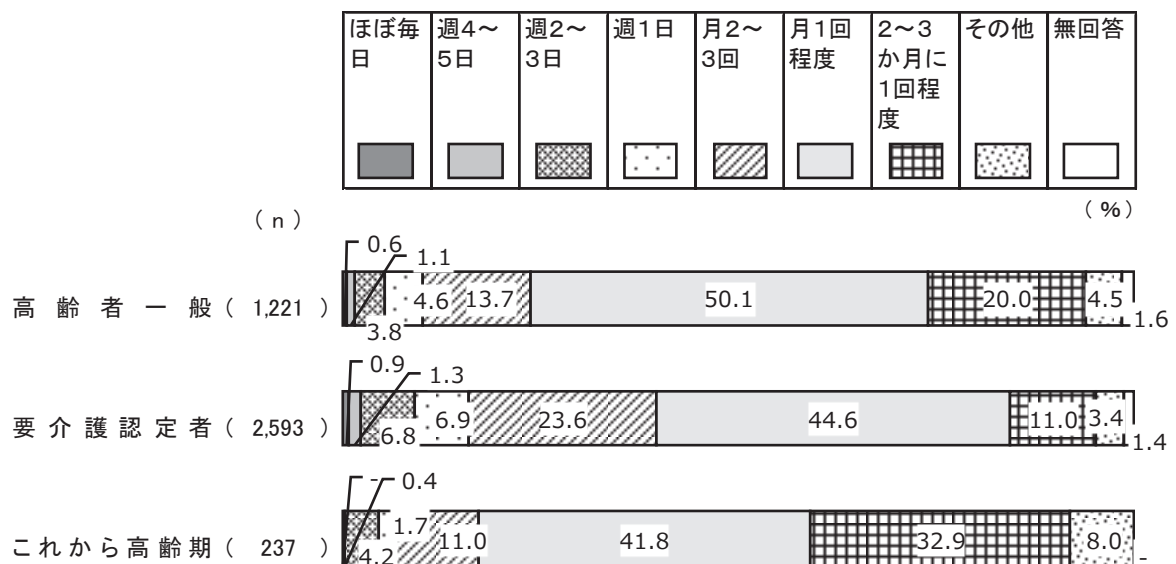
■医療の受診形態



② 医療機関の受診頻度

- “何らかの方法で医療を受診している”人の医療機関の受診頻度は、いずれの調査においても「月1回程度」が最も高く、「月2～3回」と回答した人も含めると、“月1～3回”が5割超～7割近くであった。

■医療機関の受診頻度

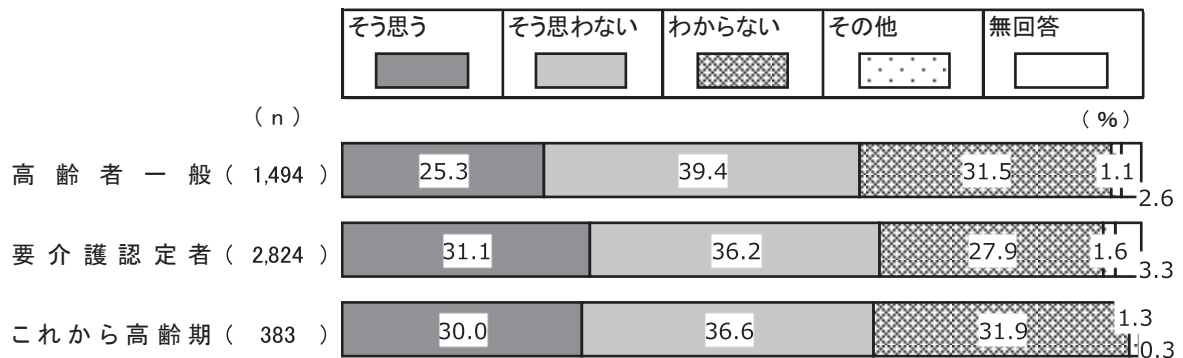


(3) 在宅療養

① 在宅療養の希望

○脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいかどうか聞いたところ、いずれの調査においても、「そう思わない（在宅療養したくない）」が「そう思う（在宅療養したい）」を上回った。

■在宅療養の希望



【経年比較】

○平成25年度の調査結果と比較すると、平成28年度調査結果は、「そう思う」が3割超と高くなっている。

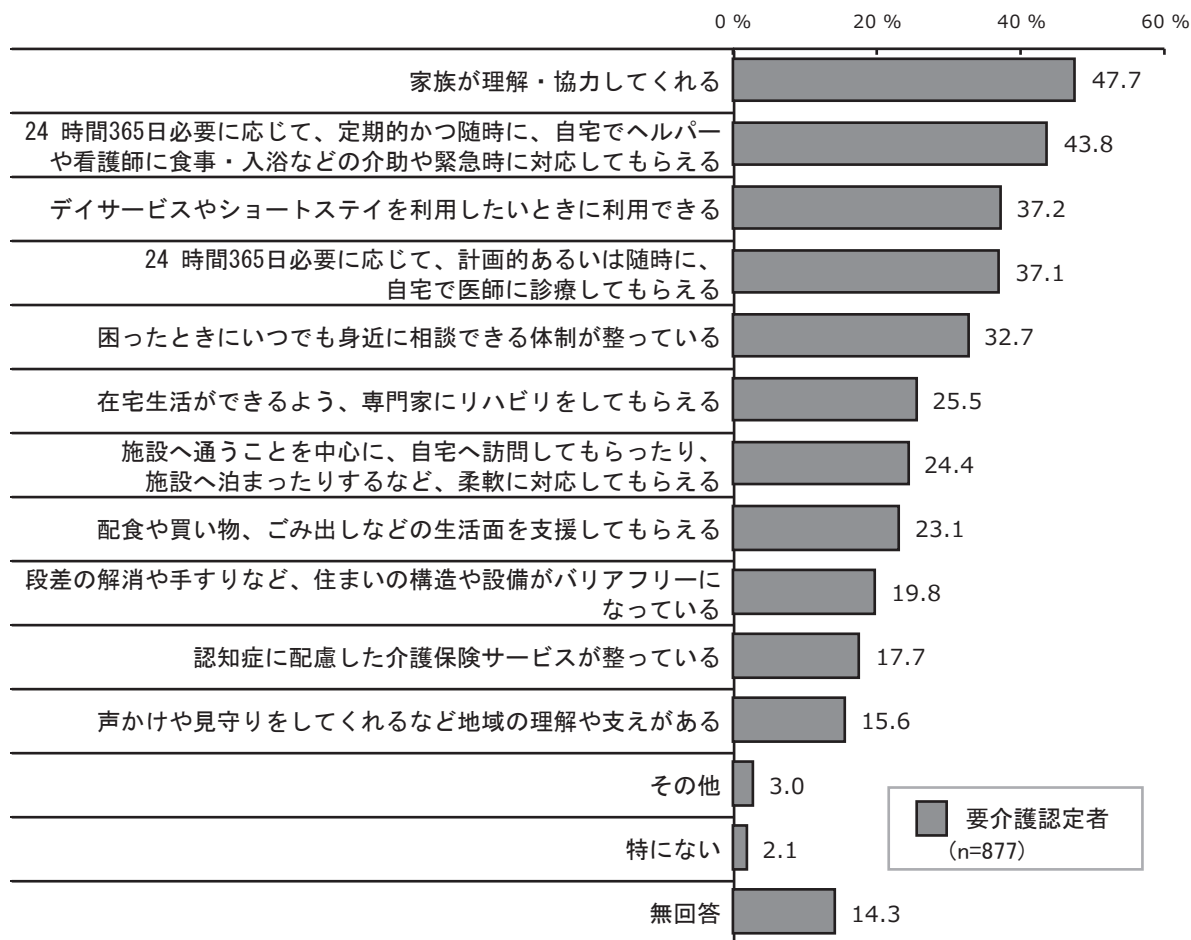
■在宅療養の希望<要介護認定者：経年比較>

	n	うそ う 思	わそ な う い 思	なわ い か ら	そ の 他	無 回 答
平成28年度	2,824	31.1	36.2	27.9	1.6	3.3
平成25年度	1,534	26.9	40.7	25.9	1.7	4.8

② 在宅療養生活を継続するために必要なこと

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養生活を継続するために必要なことは、「家族が理解・協力してくれる」が47.7%で最も高く、次いで「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」（43.8%）が続いている。

■在宅療養生活を継続するために必要なこと（複数回答）

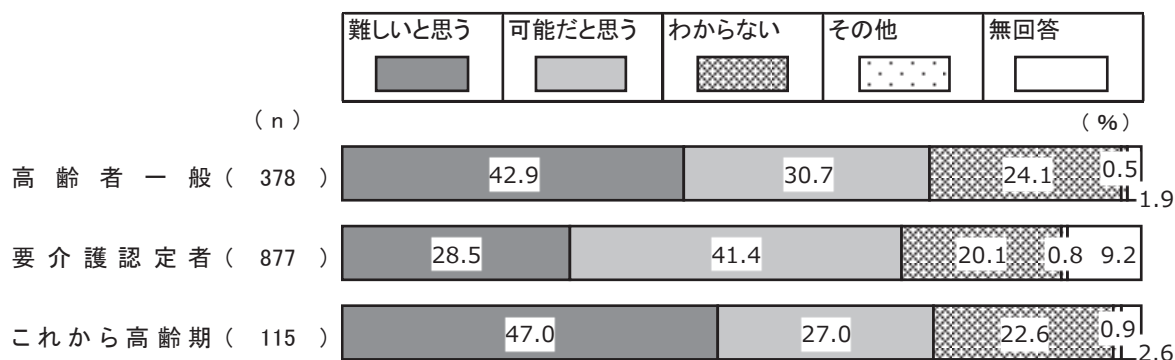


③ 在宅療養の実現可能性

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養の実現可能性は、高齢者一般、これから高齢期ともに「難しいと思う」が「可能だと思う」を上回っている。

○要介護認定者では、「可能だと思う」が41.4%、「難しいと思う」が28.5%となっている。

■在宅療養の実現可能性



【経年比較】

○平成25年度調査結果と比較すると、平成28年度は「可能だと思う」が4割超と高くなっている。

■在宅療養の実現可能性<要介護認定者：経年比較>

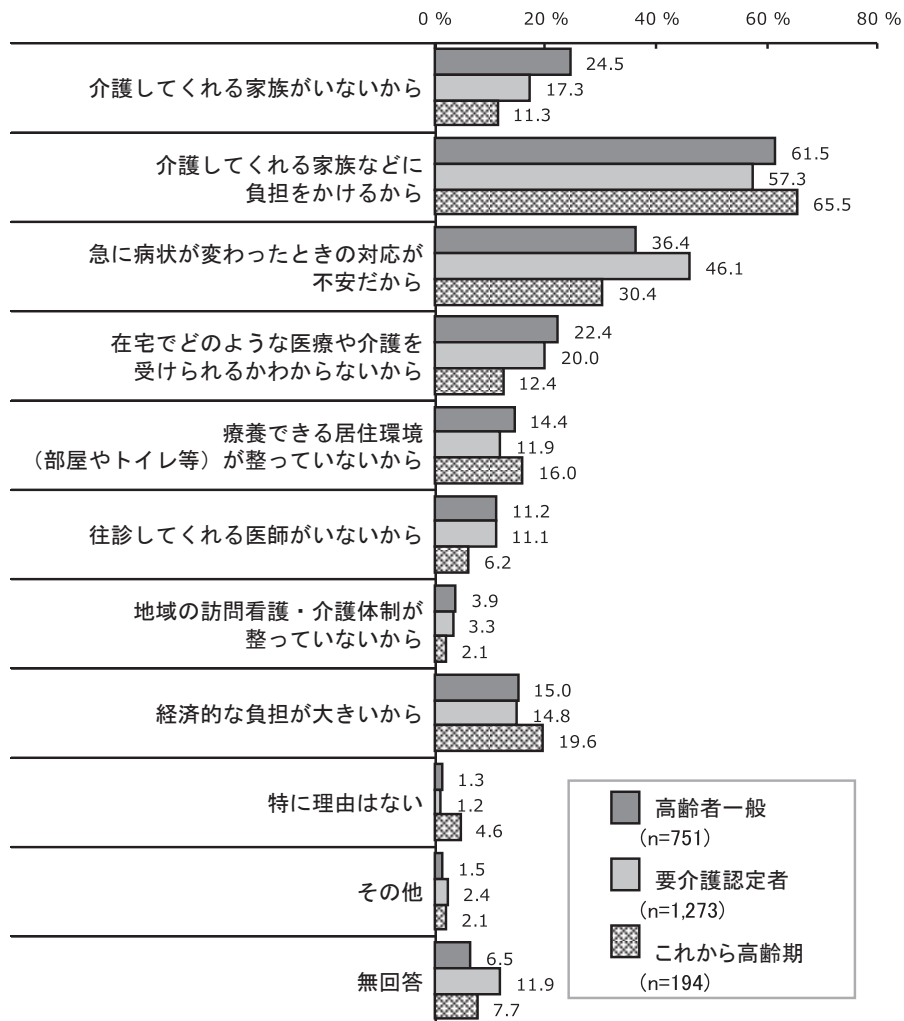
	n	思 難 う し い と	思 可 う 能 だ と	い わ か ら な	そ の 他	無 回 答
平成28年度	877	28.5	41.4	20.1	0.8	9.2
平成25年度	413	30.5	35.1	20.6	1.9	11.9

④ 在宅療養が難しいと思う理由

○在宅療養の希望で「そう思わない（在宅療養したくない）」あるいは在宅療養の実現が「難しいと思う」と回答した人の実現が難しい理由は、いずれの調査においても、「介護してくれる家族などに負担をかけるから」が最も高い。

○要介護認定者では、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が46.1%と、他の対象者よりもやや高くなっている。

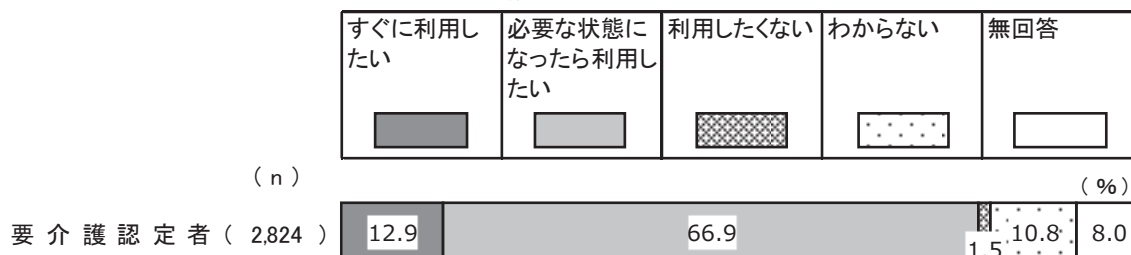
■在宅療養が難しいと思う理由（〇は3つまで）



⑤ 医療と介護の相談窓口の利用意向

○「すぐに利用したい」が12.9%、「必要な状態になったら利用したい」が66.9%で、2つを合わせた“医療と介護の相談窓口を利用したい”は約8割であった。

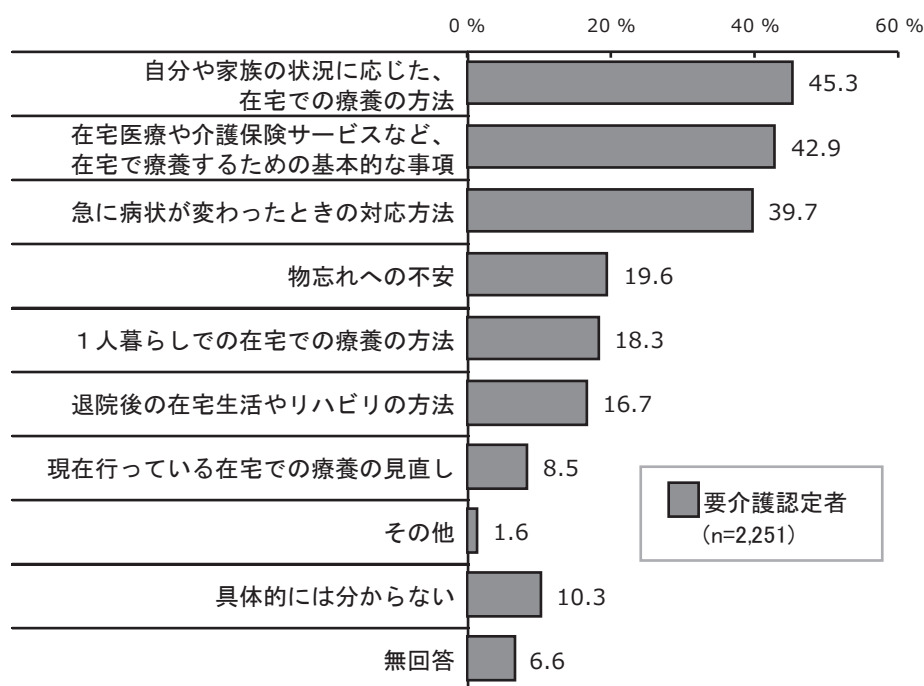
■医療と介護の相談窓口の利用意向



⑥ 医療と介護の相談窓口で相談したいこと

○“医療と介護の相談窓口を利用したい”と回答した人の相談したいことは、「自分や家族の状況に応じた、在宅での療養の方法」が45.3%で最も高い。次いで、「在宅医療や介護保険サービスなど、在宅で療養するための基本的な事項」(42.9%)、「急に病状が変わったときの対応方法」(39.7%)で続いている。

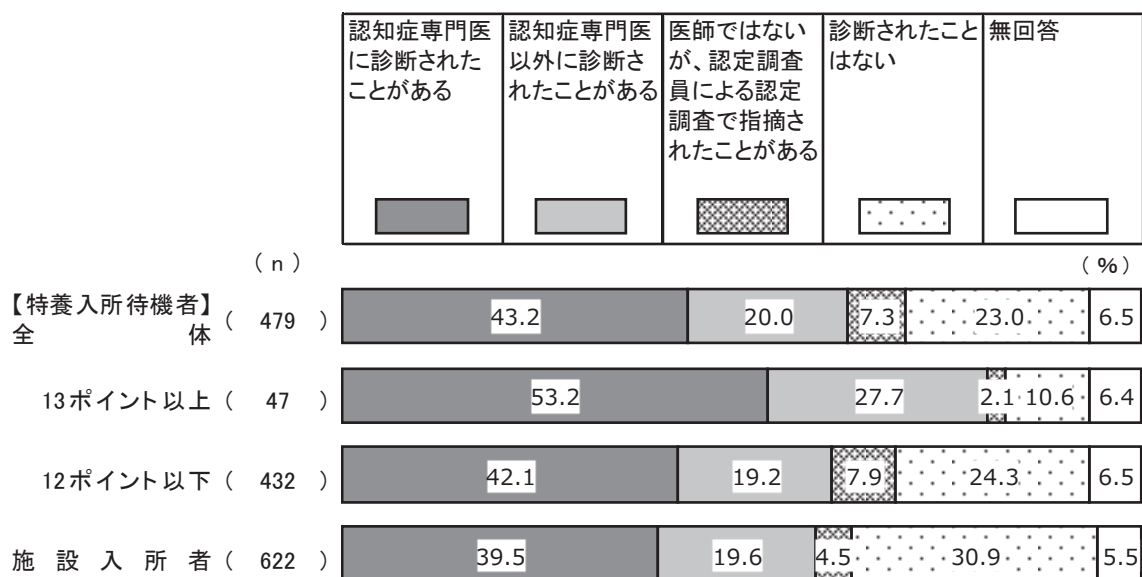
■医療と介護の相談窓口で相談したいこと（複数回答）



(4) 認知症の診断状況

- 特養入所待機者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が43.2%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が20.0%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が7.3%、「診断されたことはない」が23.0%であった。
- 施設入所者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が39.5%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が19.6%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が4.5%、「診断されたことはない」が30.9%であった。

■認知症の診断状況

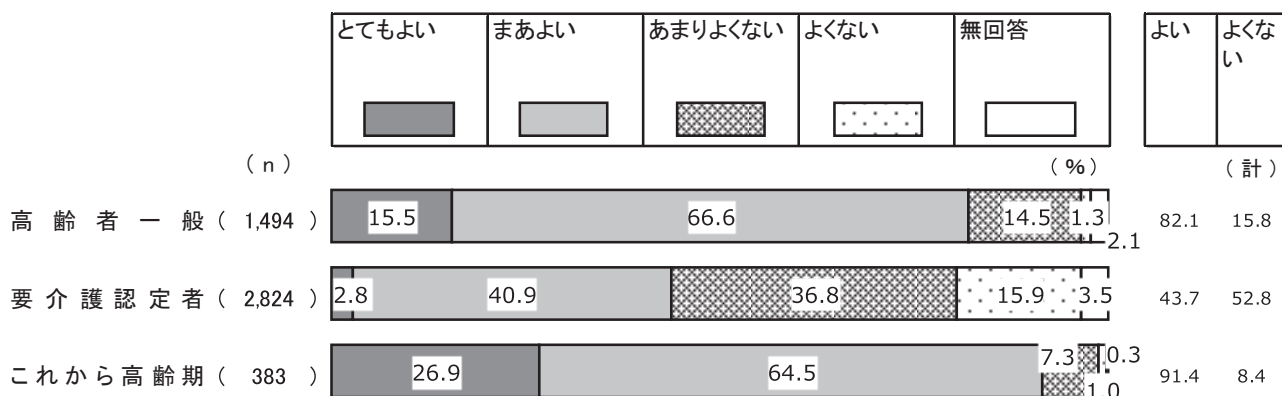


(5) 健康

① 健康状態

- “よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は、高齢者一般で82.1%、要介護認定者で43.7%、これから高齢期で91.4%であった。
- 要介護認定者では、健康状態が“よくない”（「よくない」と「あまりよくない」の合計）が半数を超えている。

■健康状態 <<ニーズ調査>>



【高齢者一般】

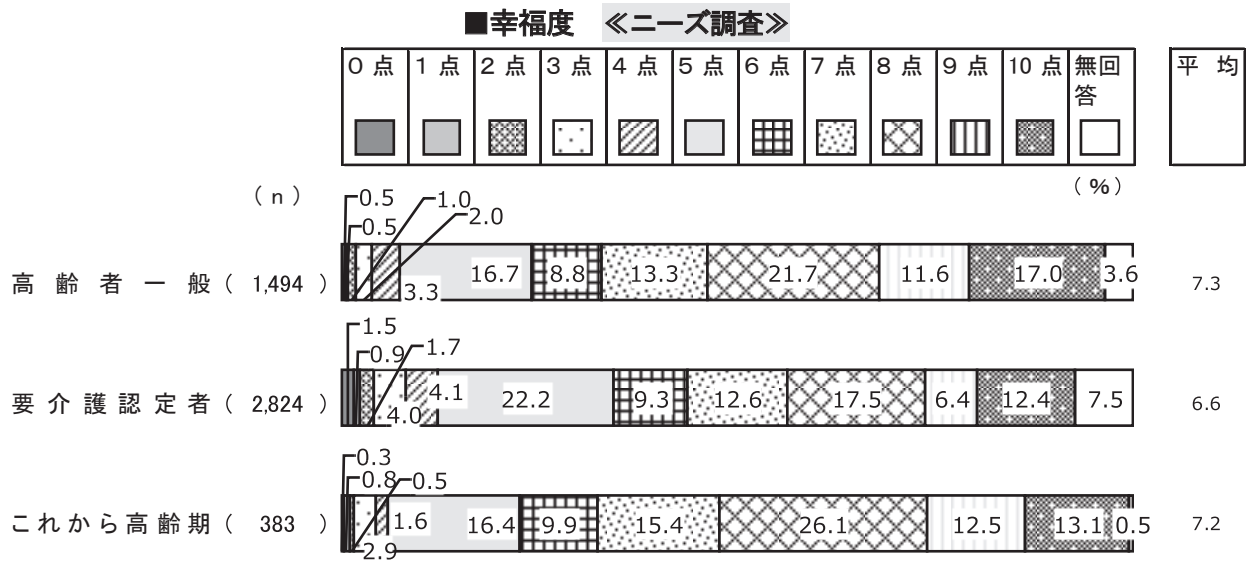
- 介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』と回答した人は、“よい”が9割超で、『興味・関心は特にない』（約8割）と回答した人よりも高い。

■健康状態 <<ニーズ調査>> <高齢者一般：介護予防実施有無別>

	n	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)	よい (計) (%)	よくない (計) (%)
高齢者一般	1,494	15.5	66.6	14.5	1.3	2.1	82.1	15.8
意識して取り組んでいる	265	25.3	66.0	6.4	0.4	1.9	91.3	6.8
今後取り組みたい	441	15.2	72.6	10.9	0.2	1.1	87.8	11.1
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	180	6.7	68.9	20.6	3.3	0.6	75.6	23.9
その他	49	14.3	53.1	30.6	2.0	-	67.3	32.7
興味・関心は特にない	404	14.6	64.6	16.8	1.7	2.2	79.2	18.6

② 幸福度

- 高齢者一般、これから高齢期では、「8点」が最も高く、それぞれ21.7%、26.1%であった。平均点は、それぞれ7.3点、7.2点であった。
- 要介護認定者では、「5点」が最も高く、22.2%、平均点は6.6点であった。



【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』は平均6.4点、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は平均8.5点と、経済状況にゆとりがあると幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：経済状況別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
苦しい・大変苦しい	541	0.9	0.7	2.6	3.5	6.1	25.9	10.2	13.7	14.0	7.2	11.1	4.1	6.4
ふつう	747	0.1	0.4	-	1.2	1.6	13.8	9.2	13.1	26.9	13.5	17.4	2.7	7.6
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	-	-	-	-	1.3	4.0	3.3	11.3	26.0	16.7	36.0	1.3	8.5

- 健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は平均7.5点、『あまりよくない・よくない』は平均5.8点と、健康状態（主観的）が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：健康状態別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
とてもよい・よい	1,226	0.2	0.3	0.4	1.5	2.2	14.6	8.2	14.2	22.9	13.5	19.6	2.2	7.5
あまりよくない・よくない	236	1.7	1.3	3.8	4.7	9.3	27.5	12.7	10.2	17.8	2.5	5.9	2.5	5.8

○外出頻度別にみると、『外出している』は平均7.4点、『自宅に閉じこもりがち』は平均6.4点と、外出頻度が高いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》＜高齢者一般：外出頻度別＞

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
外出している	1,225	0.2	0.2	0.9	1.6	2.9	15.6	8.3	13.2	22.4	12.9	18.4	3.2	7.4
どちらともいえない	122	0.8	1.6	0.8	3.3	4.9	22.1	10.7	13.9	19.7	8.2	9.8	4.1	6.6
自宅に閉じこもりがち	106	-	1.9	1.9	3.8	5.7	24.5	13.2	12.3	19.8	1.9	11.3	3.8	6.4

○介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』は平均8.0点、『興味・関心は特にない』は平均7.1点と、介護予防に取り組んでいると幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》＜高齢者一般：介護予防実施有無別＞

	n	(%)													平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答		
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3	
意識して取り組んでいる	265	-	0.4	-	0.4	1.5	9.1	5.7	14.3	25.3	17.0	23.4	3.0	8.0	
今後取り組みたい	441	-	0.5	0.7	2.0	4.1	16.3	10.0	15.0	22.4	13.6	13.2	2.3	7.2	
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	180	0.6	-	-	1.1	5.6	21.1	12.2	12.2	25.6	8.3	10.6	2.8	6.9	
その他	49	2.0	-	2.0	4.1	-	28.6	4.1	10.2	20.4	10.2	18.4	-	6.9	
興味・関心は特にない	404	0.5	0.5	1.7	3.0	3.7	18.8	9.9	13.1	19.3	8.7	18.3	2.5	7.1	

【要介護認定者】

○健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は「8点」が最も高く、平均7.4点、『あまりよくない・よくない』は「5点」が最も高く、平均5.9点と、健康状態（主観的）が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

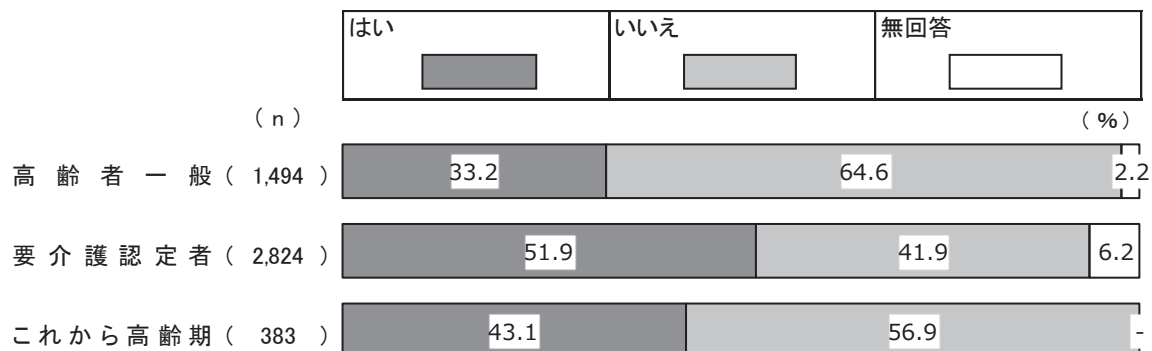
■幸福度 《ニーズ調査》＜要介護認定者：健康状態別＞

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
要介護認定者	2,824	1.5	0.9	1.7	4.0	4.1	22.2	9.3	12.6	17.5	6.4	12.4	7.5	6.6
とてもよい・よい	1,234	0.2	0.1	0.4	1.1	1.5	18.6	9.0	14.3	23.3	8.9	18.6	4.1	7.4
あまりよくない・よくない	1,490	2.5	1.7	2.8	6.6	6.4	26.0	10.1	11.9	13.3	4.5	7.5	6.6	5.9

③ この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと

- 高齢者一般、これから高齢期では、「はい（この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがある）」がそれぞれ33.2%、43.1%であった。
- 要介護認定者では、「はい」が51.9%、「いいえ」（41.9%）を上回っている。

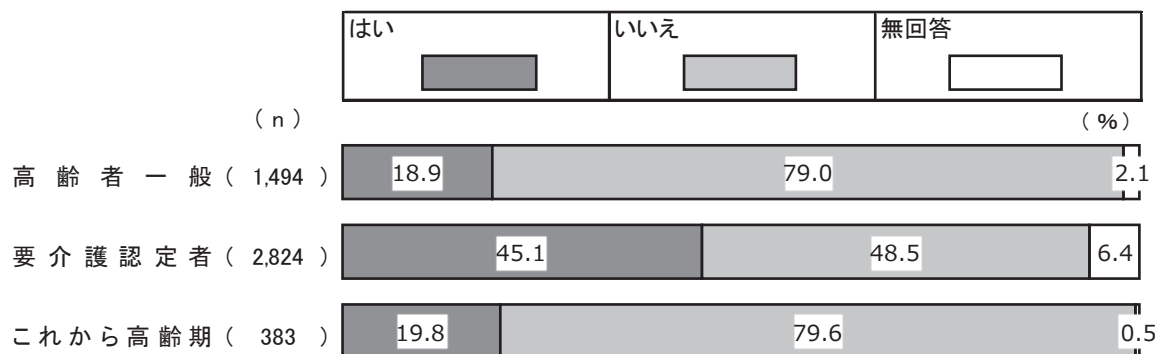
■この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと 《ニーズ調査》



④ この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと

- 「はい（この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったことがある）」は、高齢者一般で18.9%、要介護認定者で45.1%、これから高齢期で19.8%であった。

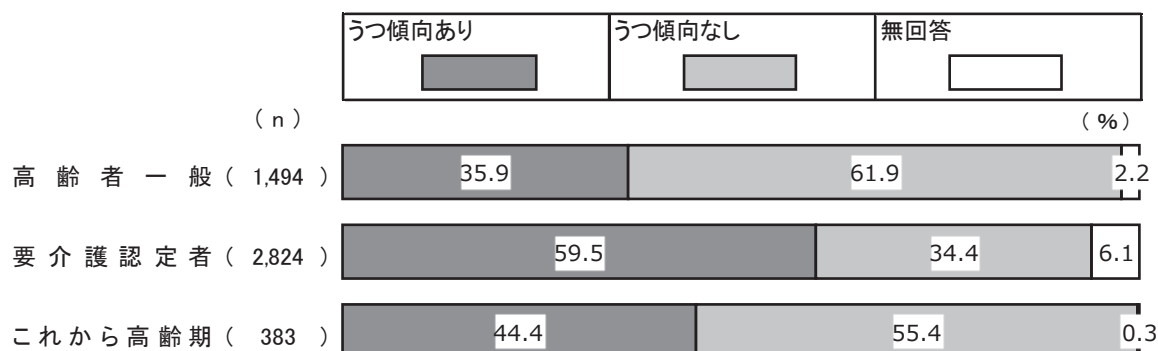
■この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと 《ニーズ調査》



⑤ うつ傾向の有無

- うつ傾向がある人(※)は、高齢者一般で35.9%、要介護認定者で59.5%、これから高齢期で44.4%であった。

■うつ傾向の高齢者 《ニーズ調査》

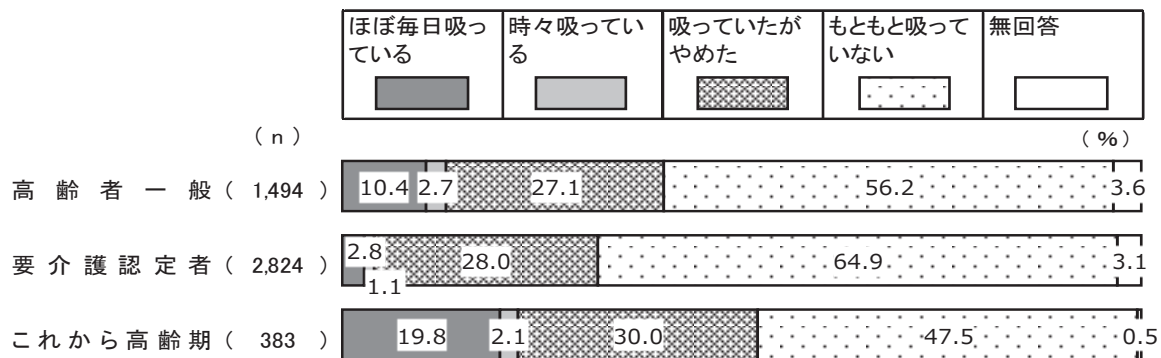


※ ③④のいずれか1つでも「はい」に該当した場合、うつ傾向ありとなる

⑥ 喫煙の状況

○「ほぼ毎日吸っている」は、高齢者一般で10.4%、要介護認定者で2.8%、これから高齢期で19.8%であった。

■喫煙の状況 <<ニーズ調査>>

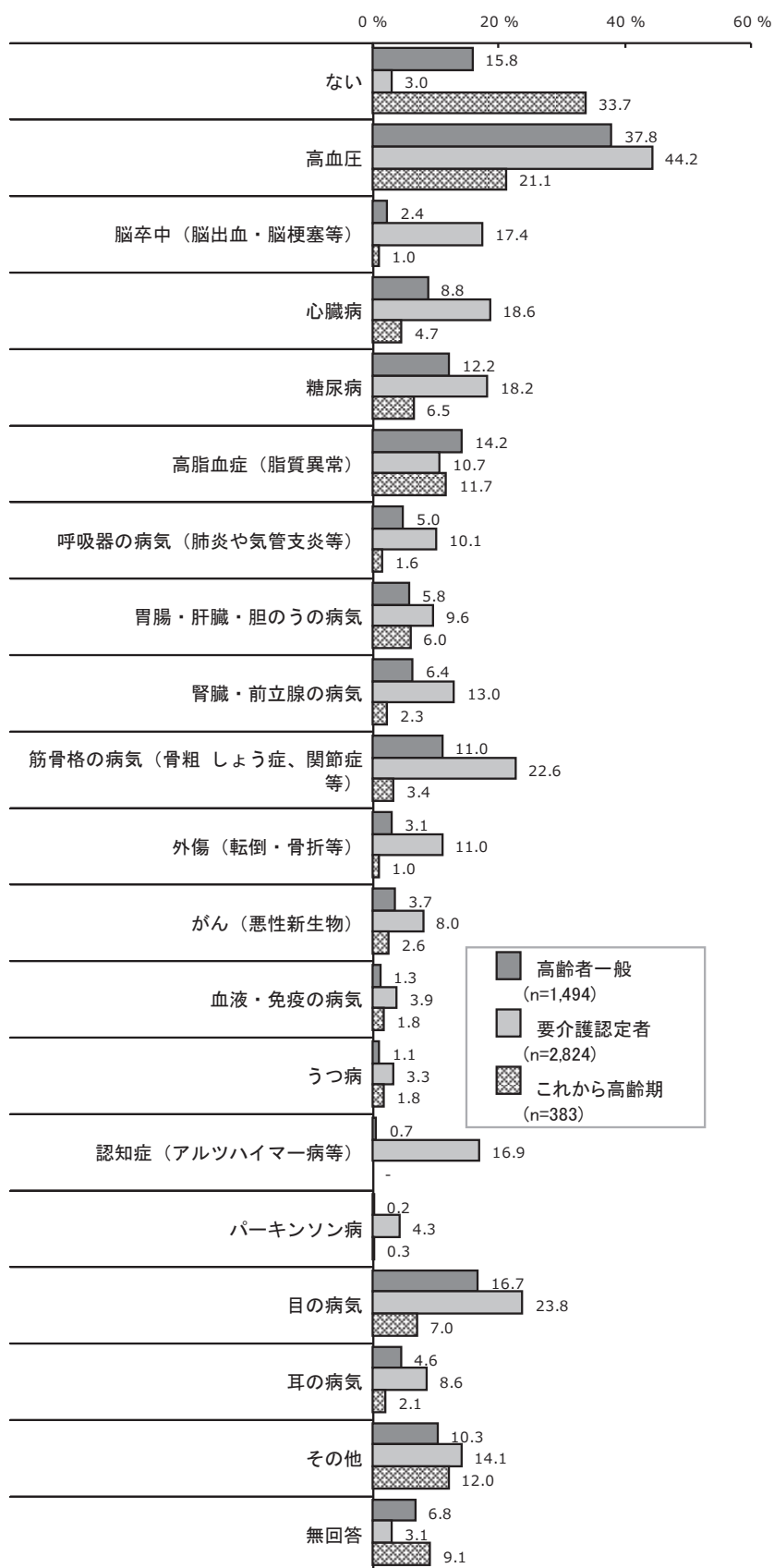


⑦ 治療中の病気

○いずれの調査においても、「高血圧」が病気のなかで最も高い。

○「ない」は、高齢者一般で15.8%、これから高齢期で33.7%となっている。

■治療中の病気（複数回答） 《ニーズ調査》

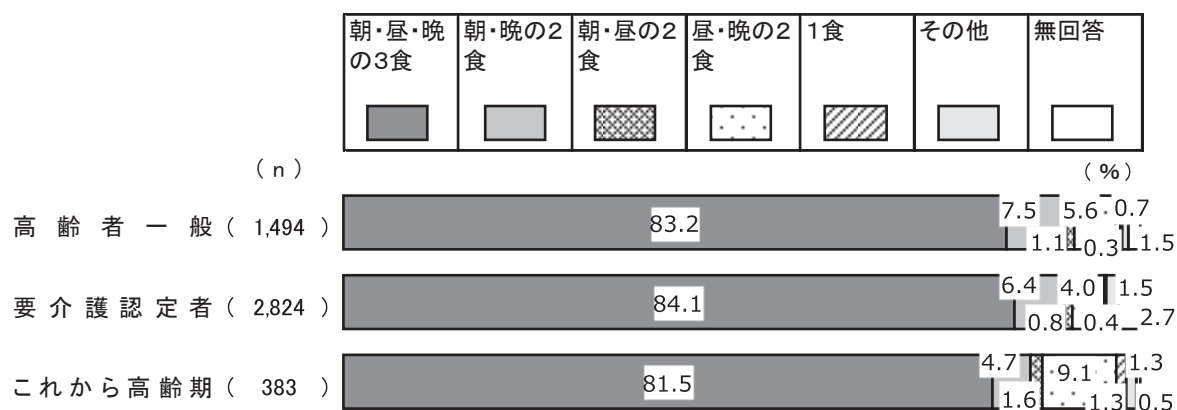


⑧ 1日の食事の回数

○いずれの調査においても、「朝・昼・晩の3食」が8割を超えている。

○“朝・昼・晩のいずれか1食を欠食している”（「朝・晩の2食」「朝・昼の2食」「昼・晩の2食」の合計）人や「1食」と回答した人は、高齢者一般で14.5%、要介護認定者で11.7%、これから高齢期で16.7%であった。

■ 1日の食事の回数



【高齢者一般】

○世帯構成別にみると、いずれも「朝・昼・晩の3食」が最も高い。『1人暮らし』は“朝・昼・晩のいずれか1食を欠食している”人が2割超で、他の世帯構成（1割前後）より高い。

■ 1日の食事の回数<高齢者一般：世帯構成別>

	n	の朝 3・ 食昼 ・ 晩	食朝 ・ 晩 の 2	食朝 ・ 昼 の 2	食昼 ・ 晩 の 2	1 食	そ の 他	無 回 答	(計) 2 食
高齢者一般	1,494	83.2	7.5	1.1	5.6	0.3	0.7	1.5	14.3
1人暮らし	474	74.5	11.8	1.9	8.6	0.6	1.3	1.3	22.4
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	374	89.6	5.3	0.3	3.2	-	0.8	0.8	8.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	76	89.5	5.3	-	2.6	-	1.3	1.3	7.9
息子・娘との2世帯	218	85.8	5.5	1.4	5.0	-	-	2.3	11.9
その他	301	88.0	4.7	1.0	4.0	0.3	0.3	1.7	9.6